



# ぶどう特報 No.7



2021年7月2日  
JA 中野市営農センター  
JA 中野市ぶどう部会

自身の園地を巡回し、展葉のステージや開花状況を園地ごとにしっかり確認して、適期の防除に努めましょう。  
なお、連続した降雨が予想される場合は、定期防除を前倒しして実施しましょう。

2021年	満開 (平年比・前年比)	水まわり(ベレーゾン)目安 (満開35~40日頃)	収穫開始時期目安
巨峰 (長梢・自然系)	6/11 (+1・+2)	7/16~7/21 頃	9/1 頃(満開80~90日頃)
シャイン (短梢H型)	6/18 (+3・+5)	7/23~7/28 頃	9/17 頃(満開90~100日頃)

※水まわり(ベレーゾン)とは、果粒が軟化し弾力が出てくる時期をいう。黒系ぶどうでは着色し始める。

## 【特別散布】 袋かけ未実施園・冷蔵ぶどう灰色カビ病予防

散布時期	落花30日 (前回防除から10日後)	散布日	月	日
散布薬剤	水	100 L		
	ライメイフロアブル	25 ml	(14日前・3回以内)	
	オンリーワンフロアブル	50 ml	(前日・3回以内)	
	アーデントフロアブル	50 ml	(前日・4回以内)	
散布量	400L / 10a			
対象病害虫	晩腐病、べと病、黒とう病、灰色カビ病、アザミウマ類、ハダニ類			
注意事項	<p><b>【冷蔵ぶどう灰色カビ病対策】</b> 貯蔵中の灰色カビ病の発生予防のため、冷蔵ぶどうでは散布推奨。</p> <p><b>【農薬汚れ・ブルーム溶脱 対策】</b></p> <p>◇ 葉面散布剤はブルーム溶脱の恐れがあるため、袋をかけるまでは加用しない。</p> <p>① アザミウマ類対策のため、花穂(ぶどうの軸)にしっかりと薬液が達するようにたっぷりと散布する。</p> <p>② 袋かけが終了している園地では、特別散布を飛ばして、袋かけ直後の防除をしてもよい。</p>			

## 【第10回 定期散布】

散布時期	袋かけ直後 (前回防除から10日後)	散布日	月	日
散布薬剤	水	100 L		
	ムッシュボルドーDF	200 g	( - )	
	アルバリン顆粒水溶剤	50 g	(前日・3回以内)	
	コロマイト水和剤 ※注①	50 g	(7日前・2回以内)	
	KKステッカー(展着剤)	33 ml	( - )	
散布量	400L / 10a			
対象病害虫	べと病、さび病、チャノイロアザミウマ、ブドウウラカミキリ、カメシジミ類、ハダニ類、コカガラムシ類			
注意事項	<p>① KKステッカーに代えてアピオン-E1,000倍を使用してもよい(アピオン-Eは一番最初に混用)</p> <p>② ムッシュボルドーDFは高温時での散布、降雨前や降雨直後の葉に水気がある状態で散布すると、薬害が発生しやすくなるため注意する。</p> <p><b>【※注① コロマイト水和剤について】</b></p> <p>◇ りんご等で使用するコロマイト乳剤はぶどうへの登録がないため、間違えないように注意する。</p> <p>◇ コロマイト水和剤はシャインマスカット以外のぶどうにも散布してもよい。</p>			

次回特報配布予定：7月16日(金)